

## 川口 佑磨 研究機関勤務/研究職

### ニューヨーク市立大学

### Electrical Engineering(電気工学科)卒

私は、長崎県西海市で生まれ育ち、大学時に国際交流を始めてから海外への関心が強くなりました。修士課程でのドイツ留学を経て、アメリカ・ニューヨークの大学院博士課程への進学を決めました。

ニューヨークでの生活はとても刺激的でした。多彩な才能と強い志を持った人たちが世界中から集まります。私は、日本文化を広めるイベントを大学院留学生向けに定期的に行い、文化交流と共に友人関係も広がっていきました。世界に広がった友人関係はこれからの財産になると思っています。

また、研究はフォトニクスという分野で、光をコントロールする技術に従事しました。次世代通信やセンシングに活用できる技術です。5年間の博士課程で4報の第一著者論文を執筆することができました。目標にしていた大きなインパクトのある著名なジャーナルでの論文投稿も実現することができました。これからは、まず日本に戻り、世界と日本を繋ぐ研究者として活躍していきたいと思っています。

私が長崎に住んでいた頃は、英語も全く話せず、資金もなかったため、留学は夢のまた夢のように思っていました。自分の興味から英語を独学で学び、ドイツで1年間交換留学した後、アメリカの博士課程で5年間正規留学するという事は全く考えていませんでした。

自分でも「無理かも」って思ってしまうようなことにも、自分を信じて取り組んでいくと、応援してくれる人やサポートしてくれる人が現れると思っています。自分一人ではできないことも、行動で示していくことによって、応援してくれる人の力を借りながら、実現できるかもしれません。「できないかも」に一歩踏み出して取り組んでいくことで、自分の世界と可能性はどんどん広がっていきます。もし、これを読んでいる学生さんがいれば、思い切って夢への一歩を踏み出して欲しいです。